

びわ湖のいのちをいだけよう！

～食育に重点をおいたびわ湖環境学習の実践～

航海の特色

本航海では、びわ湖環境学習の1つに「食育」の学習を取り入れ、琵琶湖からの産物を利用した郷土料理はおいしいと実感させ、これからもおいしくいだけようという思いを持たせることをねらう。そのために郷土料理に詳しいゲストティーチャー（食育「湖の子」守り隊）から郷土料理の歴史や工夫・食材のよさなどの話を聞き、郷土料理に対する思いを児童に感じ取らせる。また、実際に郷土料理の試食もおこなう。

(1) 航路

<1日目>

長浜港 ----- 白石 ----- 大津港
10:00発 (11:05) 13:55着

<2日目>

大津港 ----- 竹生島 ----- 長浜港
9:00発 (13:30) 14:45着

(2) 展開事例

学校での事前学習

- ◎「湖の子」での4回の食事メニューを知り、琵琶湖の産物を利用したメニューがあることを知る。
 - ・「えび豆煮」「ごりの佃煮」「しじみのみそ汁」があることを知る。
 - ・えび、ごり、しじみはどんな生き物なのか調べる。
- ◎今まで自分が食べたことのある琵琶湖の産物を利用した郷土料理を調べる。

フローティングスクールでの学習

びわ湖環境学習〈2日目午前中・40分ずつ3ローテーション〉

- ・「びわ湖のいのちをいだけよう」(学習室)
- ・プランクトン観察(活動室)
- ・「湖の子」水調べと水のよこれ回復調べ(3階甲板)

◎「びわ湖のいのちをいだけよう」(学習室)

① 2日目の朝食について振り返る。

- ・朝食の感想を学習プリントに記入し、意見交流をする。
- ・朝食の中に郷土料理があるということを知る。

② 朝食の「えび豆煮」「ごりの佃煮」「しじみのみそ汁」について説明を聞く。

- ・はじめて知ったことなどを学習プリントに記入していく。
- 【食育「湖の子」守り隊による支援】

③ 琵琶湖からの産物を利用したその他の郷土料理についての説明を聞く。

- ・「ふなずし」「ほしあゆ」についての説明を聞く。
- 【食育「湖の子」守り隊による支援】

④ 実際に試食してみる。

- ・「しじみの佃煮」を試食する。
- ・試食後の感想を交流する。

学校での事後学習

◎新聞形式にまとめる

- ・学習して感じたことや郷土料理・琵琶湖からの産物についてまとめる。

(3)活動の様子



朝食の感想を記入



朝食の感想を交流



食育「湖の子」守り隊の方の話を聞く



しじみの佃煮を試食



びわ湖のいのちをいただきます!
 ()小学校 名前()
 朝食の「えび佃煮」「ごりのお漬物」「しじみのみそ汁」を食べても感想を書きましょう。

2日目の朝食

朝食に食べたい料理はありますか? ()

朝食に食べたい料理はありますか? ()

朝食に食べたい料理はありますか? ()

他に「えび」「びわ湖のいのち」を愛するごとの料理がありましたら、

今日の学習で最も楽しかったことや、

学習プリント

【児童の声】

- ・琵琶湖にはいろいろな料理があってすごいと思いました。
- ・郷土食は家でも食べたことがあるものがけっこうありました。これからも郷土食を食べたいと思いました。
- ・いろいろな工夫をして作っていて「すごいな。」と思いました。琵琶湖の生物の命をとって食べているからおいしく残さず食べようと思いました。
- ・しじみの佃煮は見たときはいやだったけど食べたらおいしかったです。あらためて琵琶湖のことを知りました。
- ・琵琶湖にはたくさんの生物がいると思いました。
- ・大切な自然の琵琶湖の命みたいなものだから、考えて味わって食べようと思いました。
- ・しじみの佃煮はごはんにとっても合うと思います。
- ・いろいろな工夫をしているんだなあと思いました。

【指導者の声】

- ・事前学習では、家庭や学校での食事について振り返り、琵琶湖の産物を利用した郷土料理を調べさせた。本校区は祖父母と同居している子が多いのでいろいろな情報が得られた。
- ・琵琶湖でとれる食材を調理してもらったり、しじみを使った郷土料理についての話を聞けたりして有意義な体験ができた。
- ・食育のおかげで好き嫌いがやや減った。
- ・聞く活動がやや多く、子ども達の集中が途切れてしまったようだ。この点が今後の課題である。

【指導上の留意点】

- ・ゲストティーチャー（食育「湖の子」守り隊）の郷土料理に対する思いを児童に効果的に感じ取らせるために、事前に十分な打合せが必要である。
- ・試食に使用する郷土料理は持ち込みとなるため、食品の衛生管理面での留意が必要である。（事前にびわ湖フローティングスクールへ連絡する）